

# 町村週報

(町村の購読料は会費)  
の中に含まれております)

## 2789号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955  
 発行人 山中昭栄：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697 <http://www.zck.or.jp>

味噌作り・仕込み (長野県)



も く じ

### 活 動

大雪対策の財政措置等求め緊急要望 全国豪雪地帯町村対策協議会

――豪雪地帯対策特別措置法上の特例措置の10年間延長等も併せて要望――

景観に配慮した魅力ある町づくり 群馬県草津町

町村 Nav i

「日野は良(よ)い」

滋賀県日野町長

藤澤

直広 (11)

### 情 報

フォーラム

「日野は良(よ)い」

.....

.....

.....

.....

### ◎写真募集◎

表紙に掲載する写真を募集しています。採用者には、粗品を差し上げます。  
 写真には撮影者の住所、氏名及び撮影場所・日時を明記して下さい。なお、採否は当方に一任願います。  
 送り先：全国町村会・広報部

## コラ ム

### 男性脳と女性脳

日本大学経済学部教授

沼尾波子

脳科学の分野では、男性と女性とで脳の働き方が異なるという研究が進められているようだ。

研究によると、たとえば「男性は、問題解決が大好き。女性は、問題を話すことが大好き」という。男性は、何か問題が起ると、その解決にむけて思考する。だが、女性は問題を解決することよりも、誰かに話すことで満足を得る傾向にあるという。井戸端会議にみられるように、人にあれこれ話をしながら、問題の「解消」を図るのである。

夫が悩んでいると、妻はひたすら話を聞こうと声をかけるが、一人で思考をしたい夫には邪魔以外の何ものでもない。反対に、妻は悩みがあれば夫に話を聞いてもらいたいのだが、夫はそっとしておこう、いろいろ考えたいだろうから、と放置してしまう。この違いを互いに理解しあうのが夫婦円満の秘訣だそうだ。

地域づくりの取組みの中にも、男性脳タイプの課題解決型と、女性脳タイプの、思いつきをどんどん聞いてもらいながら進める取組みとがあるようだ。女性が元気なところは、地域も元気、という話を時々耳にするが、きくと、思いついたことをワイワイ話しながら、どんどん形にしていくのだらう。

課題を設定し、その解決策を考えることも大事だが、日々の何気ない会話の中で出てきたことを、みんなで作ってみるといって井戸端会議スタイルの中から、新しいことが生まれることも多い。

井戸端会議型の難しいところは、どんなアイデアが出て、どこに進んでいくのかが、事前に予測しづらいところにある。さらに言えば、走りながら考え、突き進むという手法は、行政運営の論理とは極めて馴染みにくい。事前にゴールや成果が見えないため、計画的な予算化がしづらいのである。

こうした点で、地域コミュニティや事業団体に一定の金額を交付し、年度末に使用を報告するという財政支援の在り方は、「井戸端会議型」と親和性をもつ。また、行政の各セクションに、ある程度柔軟に使用できる財源や人員を配置しつつ、井戸端会議型の取り組みを推進できる余地を残すという方法も考えられよう。もちろん、その際には、財源の使途等について、事後チェックが必要であることは言うまでもない。

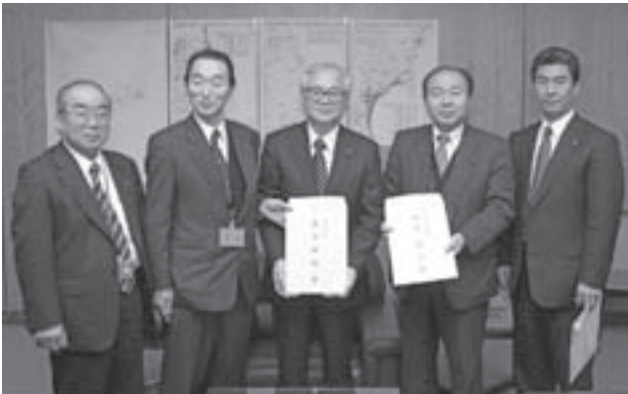
「男女共同参画」といわれるが、その推進には、男女の特性を踏まえた社会参加の方法と、それを支える行政支援の在り方を考えてみる必要があるとらう。

# 大雪対策の財政措置等求め緊急要望

—豪雪地帯対策特別措置法上の特例措置の10年間延長等も併せて要望—

## 全国豪雪地帯町村対策協議会

■総務省



▲黄川田総務副大臣(中央)福田政務官(右から2人目)に要請する稲葉会長(左から2人目)伊東常任理事(左)杉本常任理事(右)

■内閣府(防災)



▲平野防災担当大臣(右から2人目)に要請する稲葉会長(左から2人目)伊東常任理事(右)杉本常任理事(左)

■民主党



▲逢坂豪雪災害対策本部事務局長(総括副幹事長)(左から2人目)に要請する稲葉会長(左)伊東常任理事(右から2人目)杉本常任理事(右)

■国土交通省



▲津島政務官(左から2人目)に要請する稲葉会長(右から2人目)伊東常任理事(左)杉本常任理事(右)

全国豪雪地帯町村対策協議会の稲葉暉会長(岩手県一戸町長)伊東尚志常任理事(富山県上市町長)杉本博文常任理事(福井県池田町長)は2月7日、大雪災害に関する緊急要望及び豪雪地帯対策特別措置法の改正に関する要望を関係府省及び民主党、国会に対して行った。

「大雪災害に関する緊急要望」は、今般のゲリラ豪雪等による記録的な大雪対策により急増した地方公共団体の財政負担に対する特別交付税措置や市町村道の除雪費等に対する臨時特例措置などを求めるもの。

また、「豪雪地帯対策特別措置法の改正に関する要望」は、同法第14条、第15条が平成23年度末で期限切れを迎えるため、当該特例措置の10年間の延長や雪処理の担い手確保・育成及び雪冷熱エネルギーの活用等を同法に盛り込むことを求めるもの。

要請先、及び緊急要望等については次頁の通り。

活 動

実行運動要請先

【内閣府(防災)】

平野達男 防災担当大臣

【総務省】

黄川田徹 総務副大臣

福田昭夫 総務大臣政務官

椎川 忍 自治財政局長

【国土交通省】

津島恭一 国土交通大臣政務官

【民主党】

逢坂誠二 豪雪災害対策本部署長(総括副幹事長)

【国会】

村井宗明 衆議院災害対策特別委員長

大雪災害に関する緊急要望

今般の発達した低気圧や寒波は、短時日で局所的に大量の雪が降る「ゲリラ豪雪」を発生させるなど、日本海側を中心に記録的な大雪をもたらした。この大雪により、各地で除雪中の事故及び家屋の破損等の人的・物的被害や幹線道路の通行止め、公共交通機関の運休、電力・水道の供給停止などが発生し、住民生活や経済活動に多大な影響が生じており、今後の降雪や本格的な融雪期を迎えるにあたり、被害の一層の拡大が憂慮されるものである。

これらに対処するため、当該町村においては、住民の日常生活の確保、災害の防止・復旧な

どに全力を傾注しているところであるが、逼迫している地方財政事情の中、今般の大雪対策に係る経費は膨大な金額にのぼり、町村自らの努力に加え、国による迅速かつ強力な支援が不可欠である。

よって、国は、下記事項を早期に実現すること。

記

1. 大雪対策に係る地方公共団体の財政負担の急増に対処するため、特別交付税等による十分な財政措置を講ずること。
2. 市町村道の除雪費等に対する臨時特例措置を行うこと。
3. 高齢者世帯の雪下ろし・除排雪等住民の生活基盤の確保に対する支援策を講ずること。

豪雪地帯対策特別措置法の改正に関する要望

豪雪地帯対策特別措置法第14条、第15条が平成23年度末で期限切れを迎えるにあたり、下記事項の実現について、強く要望する。

記

1. 豪雪地帯対策特別措置法上の特例措置の期限延長  
平成23年度末で期限切れとなる豪雪地帯対策特別措置法による特別豪雪地帯の基幹道路の整備の特例(第14条)及び公立の小学校及び中学校等の施設等に対する国の負担割合の特例(第15条)の適用期限を10年間延長すること。
2. 雪処理の担い手確保・育成  
独居老人・高齢者のみの世帯・障がい者世帯など、自力での雪下ろし・除排雪が困難な世帯に対する地方公共団体の取り組み、及び、これらの世帯に対する地域のコミュニティ等を活かした近隣住民による「助け合い」への支援、短時日で局所的に大量の雪が降る「ゲリラ豪雪」時の除排雪への新たな対応等、雪処理の担い手確保・育成のための規定を豪雪法に整備すること。
3. 雪冷熱エネルギーの活用  
雪を地域資源として活用する雪冷熱エネルギーに係る技術の開発や事業の普及・促進等について、豪雪法上、より明確化すること。

地域資源を活かした活性化策

現地レポート

# 景観に配慮した魅力ある町づくり



△毎分4,000リットルもの熱湯が湧き出ている迫力の湯畑（ユバタケ）広場



## 群馬県 草津町



△草津白根山

豊かな自然、そして温泉

草津町は群馬県の北西部に位置し、東西9km・南北8km、総面積は49.7km<sup>2</sup>、人口7,100人の小さな町です。北と西には三国山脈の2,000m級の山々が聳え、東と南には海拔1,200mの高原が開けています。

特筆すべきは、土地の約70%は国有林であるとともに、草津白根山を中心としたその周囲は、上信越高原国立公園に指定され、あるがままの豊かな自然がしっかりと守られていることです。日本有数の活火山である。

フォーラム

▷シャクナゲ



▷コマクサ



る草津白根山をとりまく山岳景観は、景勝地としては見ごたえ十分、また、ここは高山植物の宝庫でもあり、春のシャクナゲ、夏のコマクサ、秋にはナナカマドの紅葉が季節を彩り、ハイカーや観光客の目を楽しませてくれます。

そして最も重要なことですが、草津町が一番大切にしている「温泉」となる地下水が、その豊かな自然によって、しっかりと蓄えられていることです。

マグマ溜まりの熱で温められた地下水は、毎分32、300ℓの温泉となって町内の各所に湧きだし、自然湧出泉としては全国一の湧出量を誇っています。

この圧倒的な「温泉力」が草津温泉の名を日本全国に知らしめるとともに、年間280万人のお客様が訪

◁豊富な温泉



れる温泉観光地として、その地位を確かなものとしています。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一次産業はわずか0.9%、第二次産業は7.8%となっています。つまり町民のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業(全体の63.3%)に従事しています。

つまり、草津町＝草津

温泉であり、温泉地として、観光業で町が成り立っています。

これは、いふなれば、草津町が地理的には交通の便が悪い、標高1,200mの高原地帯にあったことに加え、土地の約70%が国有林で、耕作地として使える土地が少なく、農業も成り立たなかったことなど、観光以外では生計を立てることができない土地だったのです。

歴史を振り返って・・・

歴史を振り返ってみるならば、およそ室町時代には草津温泉の名が文献に出てきており、戦国時代には豊臣秀次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国にその名が広まっていたように、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれるほどの賑わいを呈したようです。

明治時代に入り、ドイツ人医師のベルツ博士(明治時代のお雇い外国人)として来日、29年間東京大学で教鞭をとり、日本の医学の近代化に尽力した。大正天皇の侍医をつとめている)が草津を訪れ、「草津には、無比の温泉以外に日本で最上の山の空気と、全く理想的な飲料水がある。

こんな土地が、もしヨーロッパにあったとしたら、カルルスバード(チエコ共和国のカルロビ・ヴァリ市で、ヨーロッパを代表する温泉リゾート地)よりもにぎわうことだろう」と絶賛し、温泉保養地としての草津を紹介しました。

戦後の復興、そして高度経済成長とバブル経済期には、日本中で開発ラッシュが起こり、草津温泉も他の温泉地と同様、経済優先の地域づくり、町づくりが行われました。町の中心街にあった老舗旅館などは次々と郊外に大型ホテルを建設し、やがてリゾートマンションが林立するようになりました。道路や上下水道などの整備が行われ、外へ外へと開発が広がっていききました。

特に「草津スキー場(現草津国際スキー場)」は、昭和23年に日本のスキー場としては最初にスキーリフトを建設し、その後全国に広がった一大スキーブームの牽引役となりました。また、昔からあった地域の「共同湯」とは趣を異にした、日帰り温泉入浴施設「大滝乃湯」が建設され、草津町の経済発展の一翼を担っていました。

草津スキー場も大滝乃湯も、週末ともなれば観光客がごった返す状態で、日本全国の観光地同様(観光地

フォーラム

だけではありませんが、草津町もバブルに沸き立ちました。

そして訪れたバブル経済の崩壊。俗に言う「失われた10年、あるいは20年」、日本経済が低迷、混迷する時代となりましたが、草津町も例にもれず、長い間、温泉観光地としての在り方、方向性を見いだすことができず、もがき苦しんできました。

温泉観光地の在り方について

私は、観光地の使命とは、そこを訪れるお客様に日常生活では経験できないことを経験していただくこと、そして感動を与えていることだと思っています。

高度経済成長の時代、大量生産と大量消費の時代を経て、時流に迎合して開発を進めた多くの観光地がその魅力を失い、疲弊して苦しんでいます。あるがままの自然を守り、地道に地域の特性を活かした町づくりを行ってきた観光

▷伝統的な日本建築



地が、いまでは多くの人達から支持される観光地となっています。

草津温泉も多くの温泉観光地と同様、高度経済成長とリゾート開発の波に吞まれそうになった時代があり、ギリギリのところまで踏みとどまってきたという気がします。

なぜ、踏みとどまることができたのか？

それは、豊かな自然とそこで育まれた圧倒的な「温泉力」、長い歴史に培われた個性豊かな温泉文化（草津温泉には「湯もみ」や「時間湯」等、草津温泉

独自の文化があります）、時間をかけて形成された情緒ある街なみ・・・。いわば日常生活で経験できない生活空間、あるいは「癒しの空間」が、草津町には、残っていたからではないでしょうか。

◁草津温泉の湯畑前に立つ「熱の湯」湯もみと踊り」は、ショーとしても楽しめます。



景観ルールづくりと

湯畑広場の再整備

草津温泉のシンボルといえば「湯畑」です。ここでは湧き出たばかりの温泉が湯煙をあげ、7本の木樋に通されたのち、湯滝となって流れ落ちていきます。

他に類をみないこの景観は、初めて草津温泉を訪れた人々におおきな感動を与えています。全国にあまたある温泉地でも、市街地の中心でこのような景観に接することは大変珍しいと思えます。当然のことながら、

▷湯畑・新湯樋



湯畑の周囲にはホテルや旅館、土産店、飲食店が建ち並び、多くの観光客で賑わっています。しかし街なみ景観の観点からみると大変残念なことがあります。一つには、温泉情緒あるその土地固有の日本建築の建物が少なくなっていることです。これはわが国が高度経済成長の過程において、経済優先、効率主義をよしとしてきた結果ではないかと思えます。あと一つ、湯畑広場の南西に二か所、町有地が採石を敷いたままの駐車場となっていることです。この駐車場については、ある意味では利便性もあるのですが、広場全体の景観を考えると、大変見苦しいものとなっています。平成16年に「景観法」が成立したことにより、地域の個性を生かした魅力ある街なみづくりに拍車がかかりました。草津町も本格的に街なみ整備に取り組むこととなり、平成22年度より国庫補助事業である「街なみ環

フォーラム

境整備事業」に着手しました。

ポイントは二つ、市街地の「景観ルールづくり」と湯畑に二か所ある空地整備をメインとした「湯畑広場の再整備」です。

「景観ルールづくり」については、市街地を5つの地域に分け、地域ごとにその個性を生かした景観ルールをつくりまします。具体的には、建物の高さや色彩、屋外広告物の掲出等で、建物外観の改装等には助成金を出すことにより、地域の魅力ある町づくりを推進させまします。

なお、地域の景観ルールづくりについて、地域の人達が自分で考え、そして自分達が納得したルールをつくっていくことを第一と考え、行政サイドからはアドバイスはするが、押し付けることはしない、いわば、「地域づくりは地域の人達で」というスタンスをもって、これからの草津町の担い手である、地域の青年部の方々を中心に、取り組んでいます。

昨年度は「湯畑地区」において景観ルールづくりを行い、地域住民の了解も得られました。今年度も他地区でのルールづくりを行っており、平成24年度中には予定した地域のルールづくりが完了します。

「湯畑広場の再整備」については、大きく二つの柱があります。一つはあ

る空地の一つには、「湯源(とつげん)の湯屋」という昔ながらの温泉情緒を満喫できる浴場施設を建設し、観光客の方々に本物の温泉を味わっていただくというものです。

あと一つの空地については、「湯路(とつじ)広場」(イベント広場的な公園)を整備し、湯畑の賑わいを演出しようとするものです。そして最後に、「湯もみショー」で人気のある「熱の湯」が老朽化している

ため、これを建替えようというものです。

この「湯畑広場の再整備」についても、地元住民や観光業界の代表者、議会議員への丁寧なヒアリングを行い、再整備構想を策定、町民全体説明会を実施するなど、できるかぎりの段取りを踏んで事業をスタートさせました。

なお、住民説明会では、大部分の方がこの事業に大きな期待を寄せ、賛同していただきましたが、意見の中には、町の財政が厳しいこの時期(おりしも住民説明会の開催時期が、東日本大震災と重なってしまい、日程を変更しての開催となりました)、なぜ「箱物」を作らなければならぬのかという意見もありました。

しかしながら、「湯畑」という第一級の観光資産がありながら、その周囲では採石を敷いただけの土地が仮の駐車場として、ある意味では放置されていたということは、観光地として大変恥ずかしいことであり、決して「箱物」をつくるのが目的ではなく、湯畑周囲の景観を整え、湯畑という観光資産をさらに魅力あるものにしよつとすることが、第一の目的であることを重ねて説明し、理解を求めました。

場の再整備」、この二つの事業が進展するにたがって、草津温泉を訪れるお客様には、そのたびごとに、生まれ変わっていくその姿をお見せできると思っております。

平成23年度では、景観ルールに基づいた助成金制度もスタートし、すでに何件かの申込みをいただいております。街なみ整備が具体的に動きはじめました。また、湯畑広場に目を向ければ、「湯源(とつげん)の湯屋」の建築設計とともに、同地裏側にある擁壁の補強・修景工事も行っており、平成24年度にはいよいよ本格的な建築工事がはじまり、事業が具体的な形となって見えてきます。

おわりに

私は行政のトップに立つ者として、観光による経済の活性化、そして福祉と教育の充実を、町政の基本的な柱としています。

特に「観光」についてですが、草津温泉という商品をいかに魅力ある商品として磨き上げるか、そして草津温泉に来ていただいたお客様に感動と喜びを与えることができるか、それが何よりも大事なことでと考えています。



▷湯源の湯屋、イメージ図

「景観ルールづくり」と「湯畑広

(草津町長 黒石 信忠)



草津町特別編

草津町の国際交流行動

草津町には、年間約280万人の観光客が訪れる観光地であり、うち外国人宿泊者が、約14千人です。

草津町は、観光立町として一層の発展を遂げるため、「国際観光の振興」を柱の1つとして、平成25年までに、外国人宿泊者数を年間5万人にすることを目標としています。

姉妹都市関係

草津町は、①ドイツのピーティヒハイム・ビッシンゲン（姉妹都市提携1962年）、②オーストリアのノイシュティフト・イム・シュトゥーバイタール（姉妹都市提携1986年）、③オーストラリアのスノーイリバー（姉妹都市提携1991年）、④チエコのカルロビ・ヴァリ（姉妹都市提携1992年）と姉妹都市が4つあります。

エルヴィン・フォン・ベルツ博士

ピーティヒハイム・ビッシンゲンとの姉妹都市提携のきっかけは、ピーティヒハイム・ビッシンゲン出身のエルヴィン・フォン・ベルツ博士 (Erwin von Bätz, 1849～1913年) でした。

明治時代に雇い外国人として日本に招かれ29年にわたって医学を教え、医学界の発展に尽くしました。

大正天皇の侍医でもあったベルツ博士が「草津には、無比の温泉以外に日本で最上の山と空気が、全く理想的な飲料水がある。こんな土地がヨーロッパにあったとしたら、カールスバート（カルロビ・ヴァリ）よりも賑わつことだろう」と評価し、草津を温泉保養地として世界に紹介しました。草津温泉の道の駅にある「ベルツ記念館」にベルツ博士に関する

様々な情報が表示されています。

中学生のホームステイ

1997年からほぼ毎年草津町中学校はピーティヒハイム・ビッシンゲン姉妹都市のビッシンゲン実科学校と短期交換留学が行われます。最初の何年間はピーティヒハイム・ビッシンゲンの他に、チエコのカルロビ・ヴァリや他のドイツ隣国にも訪問しておりました

が、現在は、7月に約一週間ピーティヒハイム・ビッシンゲンだけ訪れます。

逆に、ビッシンゲン実科学校の生徒は9月に草津を訪問します。2009年（新型インフルエンザ）、2011年（東日本大震災）のホームステイは中止になりましたが2012年はまた実施する予定です。

参加者は7～8人で、引率は中学校の英語教師とドイツ語圏の草津町国際交流員に頼みます。

ドイツへのホームステイに参加した子どもの家



▷ 姉妹都市ピーティヒハイム・ビッシンゲンへ留学

族はホストファミリーとしてドイツの生徒を受け入れる必要があります。ここが大切な点で、一方的なホームステイでもいい経験になるのかもしれませんが、最初からお互いの訪問が予定されていることで、より深い交流ができるようです。

ホストファミリーが決まった時に生徒はドイツのパートナーと電子メールで交換を始めます。7月のピーティヒハイム・ビッシンゲンへ



フォーラム

▷草津町でのホームステイ



の派遣を実施した後は、9月の草津での再会を楽しみにすることです。つながりが出ていくのです。さらに、ドイツでは英語を日常生活にあまり使わないため、日本では、両方が母国語と違う英語で会話をすることで、バランスがとれる面があるようです。

しかし、問題は、ドイツには申込者はいつも多い一方で、草津は少ない点です。

理由は、家族はドイツからの生徒の受け入れが不安、夏休みの部活で忙しいことなどが考えられます。

もう一つピーティヒハイム・ピッシンゲンの方から聞こえてくる問題は日本の生徒の英語能力です。

ドイツの生徒は、早くから英語を勉強しているので日本の生徒より能力が高いのは仕方ありません。ただ、最近日本も5年生から英語の授業があるので将来的にはこの状況は改善されていくことが期待されます。

基本的には、参加者は英語で会話することに興味があつて、間違つても話してみるという姿勢が一番大切だと思います。

ピーティヒハイム・ピッシンゲン



◁草津町での浴衣体験

滞在中は週末が自由行動です。草津では、自由行動は一日だけで、他のプログラムは町が企画し引率しています。ホームステイを通して、草津の中学生が違う文化や習慣を経験し、若い間に外国に対する不安や恐怖を取り除くことが重要です。そして、英語の勉強は試験のためではなく、海外の人と交流するために必要な勉強であることを理解して欲しいと思っています。今は、インターネット時代で、ホームステイ終了後も連絡を取り合う生徒が多いので、終生変わらぬ友情を結ぶ場合があります。

姉妹都市公式訪問

今年ドイツのピーティヒハイム・ピッシンゲンとチェコのカルロビ・ヴァリが、姉妹都市関係の記念式に草津を訪問する予定です。

ピーティヒハイム・ピッシンゲンとは50周年、カルロビ・ヴァリとは20周年のそれぞれの記念となります。また、草津からの訪問団は2013年にピーティヒハイムを訪れる予定です。労力や費用はかかりますが直接会い、友好関係を深めることができる機会は千金の値打ちがあると思います。

草津夏期国際音楽アカデミー & フェスティバル

毎年8月に「草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバル」が行われます。日本はもとより各国の優れた音楽家に2週間のワークショップで直接指導を受けることができます。毎晩、この演奏家などのコンサートも行います。

日本ロマンチック街道

草津町は日本ロマンチック街道のメンバーです。ドイツバイエルン州のヴュルツブルクからフュッセンまでの366kmのロマンチック街道を模範として、1982年に作られた長野県小諸市から栃木県日光市までの全長約230kmを通過する広域観光ルートです。1988年、日本ロマンチック街道協会とドイツロマンチック街道協会は友好街道の締結をし、定期的に意見交流を行います。2009年に作られた韓国ロマンチック街道とも友好街道関係が決まりました。草津町の道の駅に日・独ロマンチック街道資料館があります。

(草津町 愛町部 観光課)

随 想

随 想

「日野は良いところ」

滋賀県日野町長 藤澤直広



「づくりに取り組み、厳しい財政状況を公開し、住民の参画と協働によって対応しました。お陰様で、合併特例債を使わなければ建設できないと言われていた日野中学校の改築を実現し、来年度には中学校給食の実施に向けて施設整備を行うところまで進みました。

また、今年度スタートした第5次日野町総合計画は、40回以上にわたる会議での議論を重ね、住民主導で策定しました。ある公募委員さんが「日野町に嫁いで20年、総合計画の策定に参加して町のことを考え、やっと本当の町民になれました」と感慨深く述べられたことに感動しました。第5次総合計画には「自律のまちづくり」の言葉はありません。もはや当然の概念として町民の皆さんに根付いているからです。

東日本大震災から1年が経過しようとしています。厳寒の折、被災地の皆さんの厳しい状況を思うと心が痛みます。国がもっとしっかりと迅速な対策を講じるべきだと強く思います。一方で、昨年を代表する漢字に苦難をのり越えようという気持ちが入められた「絆」の大切さが広がっていることは、この国の希望だと思

います。そして、そうした社会は顔が見える関係を活かし、地域のコミュニティを大切にし、自分たちの町のごときは自分たちで考え行動するという町村自治のめざすところでもあります。

我が町を合併の嵐から守るために足を棒にして署名に歩いた人がいます。「日野に生まれて、日野で暮らします。日野で死ぬ」ことが本望という人がいます。嫁ぎ先から「ふるさとが日野で良かった」と応援してくれる人がいます。「町に対する誇りと愛着」とは、まじめにコツコツと生きる住民がいて、それを包む温かい行政と地域社会があるなかにこそ生まれるのではないかと思います。

当時、「故郷は遠きにおいて思うもの」ではなく「近きにおいてつくるもの」という言葉に励まされました。そう言ったのは東北の方でした。今、その言葉通りに奮闘しておられる皆さんに心より敬意を表します。そして、避難者の皆さんが一日も早く故郷で暮らせることを願うものです。そして、この国が故郷を大切にする国に、都会も田舎も大きな都市も小さな町村も、そこに住む誰もが幸せになる国になるように力を合わせたいと思います。

「山は鈴鹿より湖なら琵琶湖よりなかに花咲く米どころ日野は良いところほんまにほんに」我が町のうた「日野小唄」の一節です。琵琶湖の東に位置する我が町は、人口2万3千人、面積117km<sup>2</sup>の豊かな自然と歴史と文化の町です。郷土の戦国武将「蒲生氏郷」は、秀吉に見込まれ、日野6万石から伊勢松阪12万石を経て会津若松92万石の大領を与えられるまで出せしました。氏郷は故郷を大切に思い、松阪でも会津でも「日野町」という地名をつけています。遠い古の時代から我が町に暮らす人たちは日野という町をこよなく愛してきました。

そんな日野町にも10年前、「平成の大合併」の嵐が吹き荒れました。しかし、一貫して「合併して本当に町は良くなるのか」という思いが町民のなかにありました。国や県が強

引に合併を推進するなか、それに抗して住民団体が結成され、「合併の是非を問う住民投票条例の制定を求める直接請求」に二度にわたり取り組まれました。そして、二度とも否決され、最後の手段として町長リコールの運動となり選挙になりました。しかし、もともと住民運動は選挙を目的としたものではないことから候補者選びは難航し、土壇場で住民団体の事務局をしていた私が県職員を辞めて立候補することになりました。

あれから、もうすぐ8年が過ぎようとしています。合併問題の本質は、国や県からの「合併しないとやっていけない」という「脅し」にありましたが、「三位一体改革」は、合併をする・しないにかかわらず自治体財政を危機に陥れました。こうした状況のもと、我が町も「自律のまち



# 車両共済(保険)のご案内



(自動車総合保険の車両保険)

この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定搭乗者傷害等に加え「ご自身のおクルマの補償(車両保険)」を追加する制度です。  
お車が衝突した場合や台風・いたずら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、共済(保険)金をお支払いします。

## 町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら!

- 無事故による割引で新規から **33% (保険料) 割引**  
(ご加入を希望するお車が町村生協の自動車共済で過去3年間無事故の場合は、ノンフリート等級9等級からスタートします。)
- 集団扱年一括払いによる割引で更に **5%**
- 保険料分割払 (12回) も選択可能です。  
(保険料分割払をご利用の場合は上記の集団扱年一括払いの5%割引の適用はありません。)

## さらに

無料ロードサービスがついてきます。  
ご契約のお車が、事故・故障で自力走行できなくなった場合、事前にロードサービス専用デスクにご連絡ください。JAFにお取り次ぎし、レッカーや30分程度の緊急修理などを手配します。  
●バッテリー上がりや、キー閉じ込み、ガス欠など

◎1年間事故が無かった場合は、翌年の等級は1等級上がります。  
事故によって車両共済(保険)をご利用された場合は、事故件数1件につき3等級下がります。

## 契約条件と掛金(保険料)例

- ・自動車総合保険(損保ジャパン) 保険期間1年
- ・自動車保険集団扱年一括払いによる割引5%適用

車名	フィット
型式	GE6
初度登録	平成23年2月
年齢条件	26歳以上補償
運転者限定	本人・配偶者限定
記名被保険者	30才
新車割引	有
共済(保険)金額	150万円
払込方法	集団扱年一括払



加入タイプ	自己負担額(免責金額)なし	自己負担額(免責金額)5万円
一般条件(割引適用済)	56,400円	42,710円
(通常・新規で加入する場合)	79,970円	60,570円
車対車+A(割引適用済)	25,040円	18,960円
(通常・新規で加入する場合)	35,500円	26,880円

- ・上記掛金(保険料)は、町村生協の自動車共済で過去3年間無事故(ノンフリート等級9等級)の場合のもので、保険料は平成23年4月1日現在のものであり、変更される場合もあります。
- ・掛金(保険料)は、型式、初度登録年月、年齢条件、運転者限定特約の有無、共済(保険)金額、等級などにより異なります。
- ・上記掛金(保険料)例の「通常に新規で加入する場合」とは、ノンフリート等級6S等級を適用した保険料を例示したものです。
- ・このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容については取扱代理店(千里)または損保ジャパンの営業店にお問い合わせください。

※この車両共済(保険)をご契約いただける方は、全国町村職員生活協同組合の自動車共済に加入されている方に限ります。

お見積りのご請求・お申し込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください。

### 株式会社 千里 (取扱代理店)

- フリーダイヤル **0120-731-087** (受付時間 月～金 午前9時30分～午後5時)  
お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください。
- FAX番号 **03-3519-7325**
- ホームページアドレス <http://www.chisato-ag.co.jp>  
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内

- 「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と株式会社損害保険ジャパンとが集団扱契約を締結し、実施しているものです。
- 集団扱としてご契約いただけるのは、保険契約者および被保険者が損保ジャパンの定める条件を満たす場合のみとなります。詳細については、取扱代理店(千里)または損保ジャパンにお問い合わせください。